

顧問研修会 講座③ 資料

※この原稿は音声から起こしています。元原稿の表記とは異なっています。

A ついに、あの熱いやつらが帰ってくる。11月に開かれる創立50周年記念式典で、北高応援団が1日限りよみがえります。実はこの応援団、部員が集まらず10年以上も活動していません。しかし、創立50周年をきっかけに応援団をよみがえらせようと**OB**が立ち上がりました。そのうちの1人、22回生のアサイトオルさんは、忙しい仕事の合間に応援歌の振り付けをアレンジしてくださいました。アサイさんは、「応援団にとって大切なのは、勝ち負けではありません。必要なはただ1つ、熱い魂です。」とおっしゃいます。そこで、みなさんにお願いです。あなたも**OB**の思いを受けつぐエールを全校生徒に届けてみませんか。練習は月曜日と金曜日の放課後です。運動部との掛け持ちができるよう、団長のシモガマくんが調整します。入団したい人は生徒会室までおこしく下さい。1日限りの応援団ですが、北高生の心の中に熱い風を吹かせましょう。

B みんなが、おそろいの弁当箱を使っている部活動があります。それは、カヌー部です。三段重ねで茶碗三杯分のご飯が入る大きな弁当箱を、顧問のホキチヒロ先生が部員のために買い揃えました。きっかけは休日練習の時でした。ある男子部員が小さな弁当を食べていたのが気になったのです。食べることもトレーニングの内と考えている先生は大きな弁当箱にするように勧めていました。そして今回、部員にもっと食べてもらおうと思いついて18人全員にプレゼントしたのです。女子部員達には少し大きいようですが、カレーやご飯のすすむおかずを入れて毎日残さず食べています。ホキ先生は「上位大会で活躍する選手達はみんなよく食べます。沢山食べて競り合いに負けない体を作ってほしいです。」と話しています。腹が減っては戦はできぬ。部員たちは弁当箱という強力な武器を持って今日も汗を流します。

C 2年6組のシモツウラマイさんの夢は、航空整備士です。航空整備士とは、飛行機の機体や計器類をチェックする仕事です。しかし、この仕事に就いている女性は、わずか2%しかいません。シモツウラさんは、小さい頃にジャンボジェットに乗ったことがきっかけで、飛行機の魅力に取り付かれました。中学生から集め始めた飛行機のグッズは、すでに、100点を越えます。特に飛行機の機体が好きで、翼のカーブにはいつも見とれてしまいます。そして、次第に飛行機に関する仕事をしたいと思うようになりました。最も惹かれたのは、機体に触れる航空整備士の仕事でした。シモツウラさんは、「とにかく、飛行機に関わりたい。女性が少ない職場でも好きな事を仕事にしたいんです。」と笑顔で話してくれました。シモツウラさんは、整備士の資格を取るために航空専門学校を目指しています。彼女の夢は離陸目前です。

D ベーグルの輪のように人の輪を広げたい。今年8月諫早市立図書館内にカフェ『オッコベーグル』がオープンしました。オッコとは、『ほっぺたが落ちこちる』という意味です。図書館は本を読むだけではなく、私達高校生が勉強したり、展示や講演会など世代を超えた交流の場として利用されています。そんな図書館と市民とをつなぐ架け橋になりたいと図書館ボランティアの方々がこのお店を誕生させました。ガラス窓を三面にし、外の景色を眺めながら食事が出るよう工夫されています。ボランティアの代表であるノダノリエさんは、「開店したばかりで分からないことが多いですが、お客様にくつろいでもらえるような居心地が良い場所を目指しています。」と話してくれました。何も無かったさみしいスペースに新しく生れたカフェ。図書館を利用する人にも楽しみが増えたようです。素材にこだわったおいしいベーグルとともに、ゆったりとしたひと時を過ごしませんか。